

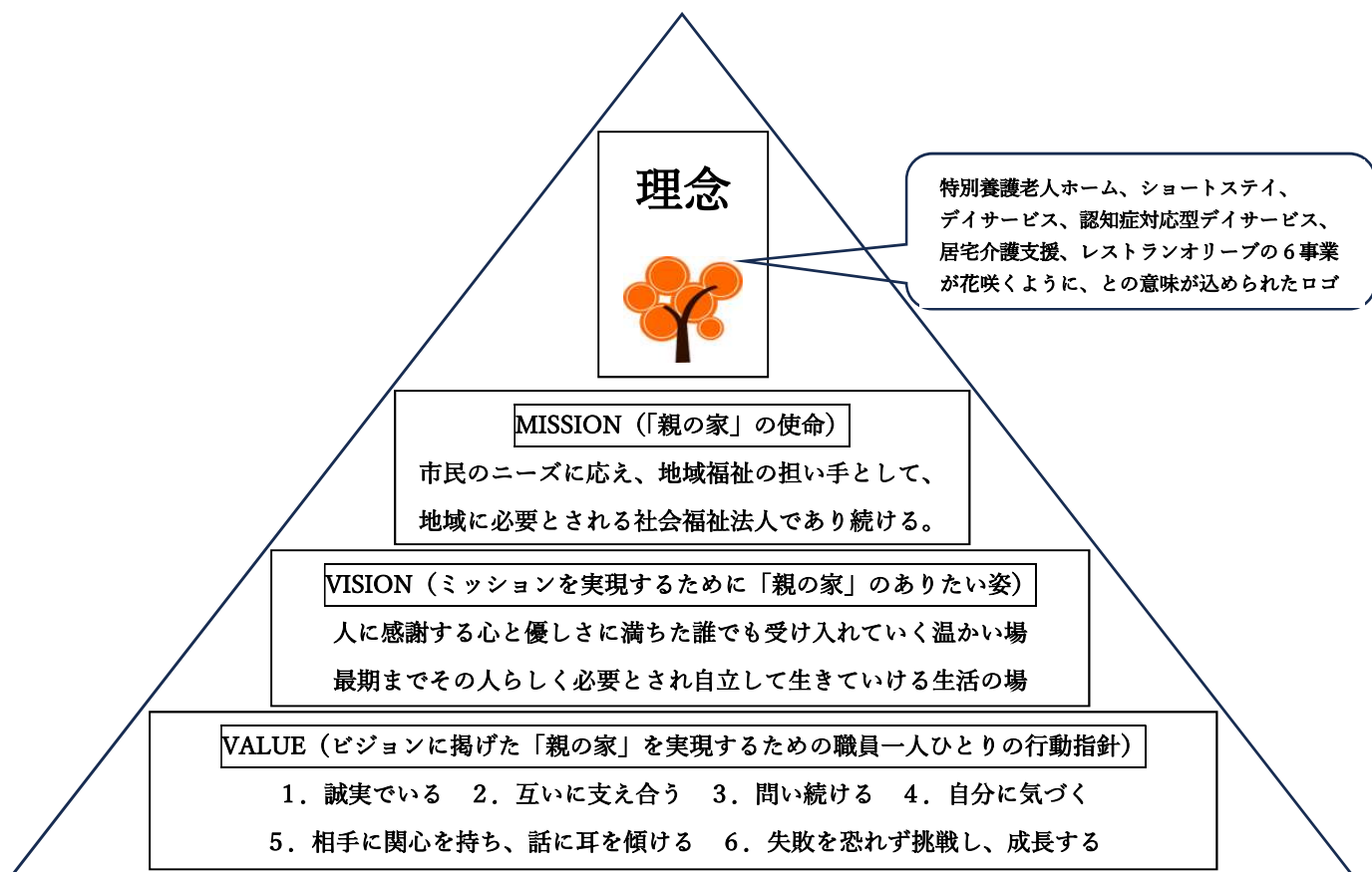
令和7年度  
事業計画書

2025年4月



社会福祉法人 親の家

## 《理念》



### VALUE (ビジョンに掲げた「親の家」を実現するための職員一人ひとりの行動指針)

#### 1. 誠実である

ご利用者、ご家族、地域の方々、ともに働く仲間たちなど、関わるすべての人や活動に対して誠実に向き合い、対応することで、互いに支え合える信頼関係を築きます。

#### 2. 互いに支え合う

困ったときはお互い様です。もしも自分や家族、友人だったら…と想像し、いつでもまわりの人の様子を気にかけて、困っている人を見つけたら助ける姿勢を忘れません。

#### 3. 問い続ける

「常識」にとらわれず、「親の家」の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）の実現に向け、日々の業務やルールをより良いかたちにすべく、常に問い続けます。

#### 4. 自分に気づく

自分に起きた体験を起点にして、自分が大切にしている価値観、無自覚の内に持っている信念や思い込みなど、自分の内面に気づき、それを学びにつなげていきます。

#### 5. 相手に関心を持ち、話に耳を傾ける

年齢や立場にかかわらず相手に関心を持ち、ありのままの言葉を受け取ること。同調や評価でなく、理解することを大切にし、意見や想いを伝えやすい関係を築きます。

#### 6. 失敗を恐れず挑戦し、成長する

はじめる前から「できない」と決めつけることなく、まずは挑戦します。実践して、ときには失敗をしても、そこから学びを育み、成長することを大切にします。

## 主要指定事業

### ① 第一種社会福祉事業

指定介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム親の家」定員 40 名（令和 7 年 5 月～43 名の予定）

### ② 第二種社会福祉事業（在宅事業）

指定短期入所生活介護施設「特別養護老人ホーム親の家ショートステイ」定員 8 名（同 5 月～5 名の予定）

指定通所介護「デイサービスセンター親の家」

通常規模型通所介護 定員 25 名

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護（認知症対応型、定員 10 名）

指定居宅介護支援事業 「居宅介護支援事業所 親の家」

指定訪問介護事業 「訪問介護事業所 親の家」（休止中）

### ③ 介護保険外事業

不老体操(武蔵野市より武蔵野市福祉公社へ委託、親の家のスペースを提供)

地域開放型レストラン オリーブ(武蔵野市より受託)

家族介護者支援事業 より処親の家(武蔵野市より受託)

## 《令和7年度基本方針》

ケアマネジメントとケアの質の向上

お互いに成長し合える職場づくりの推進

地域福祉の担い手としての自覚と誇りを持つ

## 《令和 5 ～7年度中期（3か年）計画》

1. 法人存続のための経営安定黒字化・資金安定化とBCPに基づく訓練実施
2. 各課における新たな挑戦（夜勤体制の見直し、未算定加算の新規算定）
3. 地域へのさらなる「親の家」の浸透とブランド化（地域参加と受入れ）

# 理事長所信

社会福祉法人親の家 理事長 青野 佑一郎

## ■ご挨拶

はじめまして。青野と申します。「親の家」との出会いは8年前（平成29年）、大手介護事業者を退職し、独立した私に、武蔵野青年会議所でともに運動をしてきた本郷伸一前理事長が声を掛けて下さり、同年9月に来て以来、昨年3月まで事務長として理事長・施設長を支えて参りました。また、一昨年より理事を務めてきたところ、昨年7月に前理事長の推薦を受け、理事会において選出頂き、8月より理事長職をお預かりしております。

昨年度「親の家」は経営難に陥り存亡の危機にありましたが、栗原前施設長を中心に幹部職員が力を合わせ、長年課題であった特別養護老人ホームにおける空所が出てから入所までの期間短縮による利用率向上、夜勤体制見直しによる人件費適正化を実現させ、収支黒字化の見通しと併せ資金繰りの目処を立てることができました。

## ■ケアマネジメントとケアの質の向上

「親の家」では、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）事業を主軸に、短期入所生活介護（ショートステイ）、通所介護（デイサービス）、認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）、居宅介護支援（ケアマネジャー）の各種介護事業と武蔵野市会食型食事サービス事業（レストランオリーブ）を運営しております。

昨年は、数年ぶりに、特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービスにおいて運営指導を受け、昨年度の介護保険法改正にともない義務付けられた、虐待防止についての事項・BCP（事業継続計画）の策定・感染症対策のための措置への対応状況を含めて、適正な運営をしていることを確認して頂きました。

私たちは、介護のプロとして、各介護事業の利用者に対して、さらなる良質な介護サービスを提供していくため、ケアマネジメントとケアの質の向上に取り組んで参ります。

## ■お互いに成長し合える職場づくりの推進

今年、「団塊の世代」が全員75歳以上になり、国民の約5人に1人が後期高齢者となります。いわゆる「2025年問題」として、医療や介護等の体制をどのように維持していくかが課題と言われ続けてきました。

特定技能外国人の採用や「東京都介護職員就業促進事業」枠での未経験者採用も行う「親の家」の課題は、「採用よりも定着、定着よりも成育」にあると考えます。とりわけ施設運営の要である施設長を内部の職員から育てることなく、理事会で探して決めた方をお願いし続けてきたのは、この観点からするとマイナスでした。

この過去と訣別すべく、施設開所時に新卒として入った霜田職員に昨年の副施設長就任以降、次期施設長候補として全体を把握しながら経営についても学んでもらい、今年3月に理事、そして4月より施設長就任の運びとなりました。理事長の役割の一つに、施設長が安心して施設運営に取り組むことができるようバックアップすることが挙げられ、就任以来その点を最も強く意識して行ってきましたので、引き続きその任にあたる所存です。

未来が見通しづらい時代ですが、仕事人が人を育て人が組織を育てることは、将来にわたって普遍の真実です。

## ■地域福祉の担い手としての自覚と誇り、感謝の念を持ち続ける

昨年12月、武蔵野市健康福祉部高齢者支援課と話し合いの場を設けさせて頂き、過去10年の「親の家」の歩みを振り返りながら資料を作成して臨み、現状を知って頂くとともに、市としての協力をお願いしてきました。

「福祉の武蔵野」を標榜し、「まちぐるみの支え合いの取組みづくり（武蔵野市版地域包括ケアシステム）」を推し進める武蔵野市からも、長年にわたり市民に介護サービスを提供してきた「親の家」への感謝のことばとともに、300名を超える待機市民のために特別養護老人ホームの定員数を増やす上でのご協力を頂きました。

引き続き、地域福祉の担い手としての自覚を持ち、ケアリンピック武蔵野、地元小学校や保育園、コミュニティセンターとの交流、地域防災会、地域福祉会、各種勉強会等への参加を積極的に推進して参ります。

そして、いつも「親の家」をお支え頂いている地域の方々、ボランティアの皆さまや後援会の皆さま、ご寄付を頂いた皆さまへの感謝を込めた「25周年感謝祭」を法人設立日の11月17日（月）に執り行わせて頂きます。

## ■おわりに

私の好きな論語に、次の言葉があります。

「子曰く、君子、重からざれば則ち威あらず、学べば則ち固ならず。忠信を主とし、己に如かざる者を友とすることなかれ。過てば則ち改むるに憚ること勿かれ。」

現代風に訳すと、「リーダーは常に威厳をもって軽々しく行動しない。学びを続けていれば頑固にならない。自分に忠実で他人と真心を持って付き合い、自分より劣った者と付き合いがいい気になってはいけない。過ちに気づいたら正直に改める。それがリーダーなのである。」という意味です。

言い換えれば、「重からざれば」というのは、「リーダーたる者はビジョンを示さなければならない。ビジョンを語り、目的を明確に伝える。本腰を入れて導こうとするリーダーとしての真剣さ、コミットメントの強さ、といった『重さ』がなければ、職員やご利用者、ご家族、地域の方々を幸福にはできないと考えております。

今年度、私自身も社会福祉主事任用資格取得へ向けて福祉系大学の通信教育科に入学し、学びを深めるとともに、理念経営を実践し、より一層まい進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年4月1日

# 施設長所信

## 特別養護老人ホーム親の家 施設長 霜田 祐喜子

はじめまして。今年度より施設長職をお引き受けしました、霜田と申します。平成13年4月の開設時に新卒で特別養護老人ホーム介護職員として入職し、以来24年間親の家に携わらせていただいております。

これまで、特別養護老人ホームでの介護職、生活相談員と施設ケアマネジャー、ショートステイ担当相談員として、様々なご利用者様、ご家族様、地域住民の方々、地域の事業所の方々、親の家の役職員の方々と一緒に親の家でたくさんの時間を過ごさせて頂きました。この24年間、親の家にはたくさんの笑顔と笑い声が溢れていましたが、明るく楽しいことばかりではなく、苦労したことや悲しいことももちろんありました。

一職員だった私が、施設長という大役を務めさせて頂く意味は、この24年間で作り上げてきた親の家の素晴らしさを今後に伝え、継続し、それと共にこの時代に求められている社会福祉法人としての役割としっかりと果たしていく事だと感じています。

昨年度まで、新型コロナウイルスの混乱の全盛期に施設長を務められた前施設長のもと、BCPの作成、感染症対策の基盤作り、高齢者虐待防止対策などの整備を行いました。

組織として、その基盤を確固たるものにしつつ、親の家を未来へと前進させていくために、以下の点に注力していく所存です。

### 【ご利用様とご家族様を真ん中に】

介護の手が必要となったご利用者様には、その方々の数だけの生い立ちとそれまでの生活があり、今に至っています。これまでの過程には、ご苦労をされたことも多かったでしょう。また、ご利用者様を支えて来られたご家族様にもたくさんのご苦労があった事でしょう。ご利用者様、ご家族様に何よりも安心して親の家をご利用頂き、「また親の家に来たい」「親の家を頼りたい」と思ってもらえるよう安定した介護の提供、開かれた情報提供、率直な想いを伝えて頂ける関係づくりを強化し、続けて参ります。

### 【地域の方々と真ん中に】

毎日様々なボランティアの方が来所し、活動してくださっています。地域のいろいろな事業所の方との連携のもと、提供しているサービスもたくさんあります。毎回レストランに来てくださっている方、元気いっぱい遊びに来てくださる近隣の保育園児や小学生。親の家が、ここ武蔵野市に24年間あり続けているという実感は、この皆様が親の家に関わってくださり、武蔵野市の空気を運んでくださっているからこそです。これからも変わることなく、地域の方々をお呼びできる開かれたイベントや研修、活動の場の提供を行い、SNSや情報誌など、様々な媒体で親の家の情報の発信を定期的に行ってまいります。

### 【職員を真ん中に】

親の家を支えているのは、ここで働いている職員に他なりません。毎日たくさんの職員が勤務する事により、24時間365日親の家が運営を続けることができます。様々な考え方や経歴を持った職員が集まっているため、時には意見のぶつかり合いやすれ違いもありますが、それは親の家が前進し続けるためには必要な過程です。まずは職員が安心して働き続けることができるよう、理念に則った安定した経営を行うこと。また、すべての職員が成長し続けることのできるよう、ひとりひとりキャリアパスを作成し、計画的に取り組む事。何よりも、全職員が安心して意見することができるよう、風通しの良い職場環境の整備を行います。

ご利用様・ご家族様・地域の方々・職員、の全員が親の家の真ん中におり、全員が主人公です。

誰一人欠けることなく、全員で親の家を作り上げ、前進していきたいのです。

24年間という歴史にだけとられるのではなく、新しい考え方や取り組み方を積極的に取り入れながら、25年目をスタートさせます。

私自身、精一杯親の家に向き合って参りますことを、ここに約束いたします。

至らない点も多く、皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あるかと存じます。

ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年4月1日

## ○運営組織【責任者】

「VALUE（ビジョンに掲げた「親の家」を実現するための職員一人ひとりの行動指針）」の実践へ向けて、各課の責任者を中心としたマネジメントを行う。施設長、デイサービスセンター長、事務長が自らVALUEに沿った行動をするとともに、各課を管掌し、事業計画進捗確認と日常的な報告・連絡・相談の対応にあたる。

施設	管掌	課【責任者】	主管委員会（委員会の主宰・次第・議事録作成を担当）※	
施設長【霜田】 ↳苦情解決第三者委員会 ↳感染症対策委員会 ↳BCP委員会  デイサービスセンター長【山口】  事務長【(兼)青野】	山口	デイサービス課【佐藤,望月】 ↳相談担当【内田】 ↳送迎担当【(兼)山口】	虐待防止委員会	
		霜田	ユニット課【内海,藤井】 ↳相談担当【遠藤】 ↳あけび荘【鈴木晶】 ↳かしわ荘【(兼)藤井】 ↳さくら荘【葛西】 ↳とちのき荘【緒方】	入浴委員会/排泄委員会/身体拘束廃止委員会/各行事委員会 虐待防止委員会/事故対策委員会（安全対策担当者）
			居宅介護支援課【鈴木,鹿能】	虐待防止委員会
	訪問介護課【本郷】			
	給食課【春日】		食事委員会	
	青野	総務課【吉際】	防災委員会/衛生委員会/ボランティア委員会	
		保健課【山賀】	褥瘡対策委員会	

※委員会について、記載のほか必要に応じて適宜設けることとする

## ○職位と任務

職位（法人内）	任務（法人内）	出席する会議	主催する会議	研修
施設長 (業務執行理事)	施設運営管全般（業務執行）	武蔵野市施設長会、評議員会、理事会、経営会議、未来会議、役職者会議、全体会議	理事会、未来会議	施設長研修、 他施設との合同研修
	施設予算管理・役職者の育成	議、未来会議、役職者会議、全体会議		
センター長	デイサービス課の管掌	経営会議、未来会議、役職者会議、全体会議	—	管理職研修
事務長 (事務局長)	渉外業務、管理業務全般	武蔵野市社会福祉法人連絡会議、評議員会、理事会、経営会議、未来会議、役職者会議、全体会議	経営会議、全体会議	会計研修、介護事業マネジメント講座
	法人予算管理・人事全般			
課長	各課マネジメント（運営）、 部署予算管理・部下の育成	未来会議、部署内MTG、役職者会議、全体会議	部署内MTG	管理職研修 接遇研修
主任	チームリーダー、課長の補佐	未来会議、部署内MTG、役職者会議、全体会議	役職者会議	役職者研修 接遇研修
副主任	チームサブリーダー、主任の補佐	役職者会議、部署内MTG、全体会議	同上※	役職者研修 接遇研修
一般職	チームメンバー	部署内MTG、全体会議	—	能力開発 接遇研修

※上位の役職者不在時は、他の常勤職員（役職者に限定しない）が代わって行う

※会議の役割の説明は、以下の通り

武蔵野市施設長会…武蔵野市が主催し、市内7つの特別養護老人ホームの施設長が出席する会議（隔月開催）

武蔵野市社会福祉法人連絡会議…武蔵野市内の社会福祉法人が集まり情報交換を行う会議（年1回開催）

評議員会…評議員が集まり、理事の選任/解任や定款変更、事業計画・収支予算、事業報告・決算等の審議を行う（年2回開催）

理事会…理事・監事が集まり、理事長・常務理事の職務執行状況報告を受け、評議員会付議事項の審議を行う（年4回程度開催）

経営会議…顧問税理士による月次決算報告を理事長・常務理事・事務長が受け、経営改善について討議する会議（毎月1回開催）

未来会議…理事長・施設長・センター長・各課責任者が参加し、施設運営・経営改善について討議する会議（毎月1回開催）

部署内MTG…各課責任者が主宰し、課（部署）内のより良い運営や課題について討議する会議（半期に1度以上開催）

役職者会議…各課役職者が集まり、課（部署）内の人員育成等について討議する会議（ユニット・デイサービス毎月1回開催）

全体会議…理事長・施設長・事務長による事業計画/予算発表およびその進捗/決算報告を行う会議（半期に1度以上開催）